

東京都現代俳句協会会報

発行人 今野 龍二
発行所 東京都現代俳句協会
〒113-0033 文京区本郷5-3-2-302
長谷川はるか
TEL-FAX 03-3814-1228

昭和百年 戦後80年 新たな一歩を！

令和7年度定時総会



あいさつする山本会長

東京都現代俳句協会は3月15日（土）、台東区民会館において令和7年度定時総会を開催。53人が参加しました。司会は今野龍二幹事長が務め、冒頭でこの1年間に亡くなった会員に黙祷を捧げたあと長谷川はるか副会長が開会を宣言。山本敏倅会長はあいさつで「今年は昭和百年ともいわれ、戦後80年ともいわれる年。大きな節目であり、昨年40周年を迎えた当協会としてもさらなる前進をはかりたい。その具体化

にむけてこの総会でしっかりと議論して新たな一歩を踏み出そう」と述べました。

続いてあいさつにたつた松澤雅世常任顧問は「今年からブロック主催の吟行会がこれまでの年4回から年2回になるなどの変化もあるが、通信句会も含めていろいろな取り組みに積極的な参加をお願いしたい。会員の高齢化もすすんでいるがお互いに健康に留意しながら大いに俳句を楽しみましょう」と呼びかけました。

続いて、土屋秀夫氏を議長に、松田圭子氏を副議長に選出したうえで、以下の5議案が審議されました。

- 第一議案 令和6年度事業報告
- 第二議案 令和6年度収支報告
- 第三議案 令和7年度事業計画案
- 第四議案 令和7年度収支予算案
- 第五議案 役員改選について

第一議案と第二議案は、長谷川はるか総務部長、第二議案と第四議案は石口笑會計部長、會計監査報告は、今村たかし監査役と青木栄子監査役、第五議案は山本会長より提案されました。新任の幹事には土屋秀夫、米原拓土、暮目俊行、松田圭子の各氏が就任し、鈴木光子、山中裕子、五十嵐秀山の各氏が退任されました。

審議の後、すべての議案が満場の拍手で承認されました。

一句持ち寄り句会で盛り上がる

総会後の一句持ち寄り句会では、長谷川副会長の司会で進行。披露を川崎果連広報部長と石口りんご幹事が務め、句会の中では松田ひろむ顧問が「芭蕉・兜太・シン現代俳句」と題して講演。芭蕉の虚実観としての「一言語は虚に居て実をおこなふべし。実に居て、虚にあそぶ事はかたし」は、兜太の「定住漂泊」にも通じるとし、実生活を軽んじて虚を操る現代の凡百の俳人への警鐘でもあるーなど現代俳句を問い直すという意味からも興味深い講演でした。

※要約（ポイント）は3面に別掲ー

終了後は懇親会を開催し、瀬藤副幹事長の司会で進行。詩吟や詩の朗読なども披露され改め

て会員の多才ぶりに驚かされながら楽しく交流を深めました。

【一句持ち寄り句会 結果(数字は順位)】

- 1啓蟄や地下にガス管水道管 石口 榮
2春風や外へ出たがる銀座線 釜田 二美
3お節介やいて後悔して臆 加那屋こあ
4金屏風三枚分の春愁 山本 敏偉
5鰯祭や算盤すくの国と国 瀬藤 芳郎
6街宣車待たせて渡る春日傘 土屋 秀夫
7のどけし抱かれたる子のふくらほぎ 川崎 果連
8三月の空は気まぐれ線グラフ 山口 紀子
9ブランコをたぐり漕いであの世まで 松澤 雅世
10水色の時を啜へて燕来る 一井 魁仙
11春ごとにこの階段の登り方 長谷川はるか
12一生の足跡いくつ春落葉 青木 栄子
13三月やはぐれないよう手をつなぐ 栗原かつ代
14草萌や静かに匂う女文字 今野 龍二
15聴く耳をもたない夫よ桜餅 磯部 薫子
16桜餅の葉つば食べる派四姉妹 高矢 実来
17さざ波は誰の恋文鳥帰る 石口りんご
18指切りの指が春まで待ちぼうけ 栗田希代子
19半分は女ともだち梅暦 松田ひろむ
20探梅のひと雨毎の江戸しぐさ 田辺 花
- ★特別選者量賞
山本敏偉会長 特選

水色の時を啜へて燕来る
中内火星副会長 特選

鰯祭や算盤すくの国と国
今野龍二幹事長 特選

指切りの指が春まで待ちぼうけ
瀬藤芳郎副幹事長 特選

桜餅の葉つば食べる派四姉妹
松澤雅世常任顧問 特選

さざ波は誰の恋文鳥帰る
松田ひろむ顧問 特選

うりずんやカンカラ三線八十年
小高沙羅顧問 特選

寒明や光の帯を曳くボート
今村たかし監査役 特選

街宣車待たせて渡る春日傘
土屋秀夫議長 特選

春遅しワンパウンドの始球式
松田圭子副議長 特選

水色の時を啜へて燕来る
★以下・順不同

鳥帰るGPSの幾山河
百十鳥多く人工甘味料

トレンドは物価上昇春寒し
春昼の夢か浮世の櫛・かんざし

げんげ田ででんぐり返し君笑うまで
石山 正子

一井 魁仙

瀬藤 芳郎

栗田希代子

高矢 実来

石口りんご

白石 正人

豊島月舟斎

土屋 秀夫

米原 拓土

一井 魁仙

讃岐 幸江

中内 火星

松田 圭子

北村眞實子

石山 正子

狛犬のハートのおしり柳の芽
花よ咲けユニコーンカラーの浅草に

春水の底砂色の貝目覚む
二人して春の吉原べらぼうめ

墨堤に人出そこそこ花ぐもり
春色の粧ひきざす潦

外股に卒業の子の袴揺れ
恋猫の悔やまぬ終の朝かな

春満月砂糖の渦に沈みけり
大吉に変える春風二天門

卒業子琵琶湖の風に髪を解く
詩心の笑みでは消ゆる雪解水

春満月まあるい窓は呼んでゐる
仲見世や我も群れたる生しらす

ふらここの空蹴る足は宇宙人
うりずんやカンカラ三線八十年

うつつらと赤子の目開く辛夷咲く
ドラえもん飛び出しました水温む

寒明や光の帯を曳くボート
坑道のカナリア死せず沖繩忌

眠らせて鯨ゆらゆら銀の波
野遊びや俳味の後期幸齢者

春潮や築地魚市銀鱗文庫
菜種梅雨くしゃみのふえる誕生日

春遅しワンパウンドの始球式
米原 拓土

石田 弥生

小高 沙羅

原 詩夏至

高橋 透水

大山実知子

墓目 俊行

蓮尾 碩才

五十嵐秀山

星野 愛

岡崎 久子

宮川 夏

早川 厚

山崎 百花

櫻木美保子

今村たかし

白石 正人

坂本 君江

山戸 則江

豊島月舟斎

榎並 恵那

見目 千絵

神田 千風

横山 小鼓

渡邊すみれ

米原 拓土

講話「芭蕉・兜太・シン現代俳句」

松田ひろむ顧問

※ポイント抜粋(編集部)

☆芭蕉のことは

「言語は、虚に居て実をおこなふべし。実に居て、虚にあそぶ事はかたし……」(『風俗文選』)

「陳情表」

芭蕉の虚実観である。「虚に居て実をおこなふべし」は、兜太の「定住漂泊」にも通じるが、虚は実のためと考えることがいい。「実に居て」は、実生活を軽んじて虚を操る現代の凡百の俳人への警鐘でもある。

☆金子兜太のことは(本講話より抜粋)

▼「もつと、生々しい俳句を一生きもの感覚で書いてほしい」

▼「なぜ戦争がなくならないのか。一言で答えさせてください。物欲の逞しさです。あらゆる欲のうちで最低最強の欲ですが、それだけにもつとも



講演する松田顧問

制御不可能、且つ付和雷同を生みやすい欲と見えています。そこに人間の暮らしが、武力依存を募らせる因もある」

☆その他の兜太評(本講話より抜粋)

▼(大高宏充) 人間を幸せにすると信じられてきた民主主義は、その欠陥をさらけ出している。極右やポピュリズムが台頭してきたのも、制度疲労した資本主義・民主主義体制から多くの人が落ちこぼれたためではないのか。

★左義長や武器という武器焼いてしまえ

★長寿の母うんこのようにわれを産みぬ

この俳句は、金子兜太という俳人に内在する本能的感性、あるいは存在の純粋衝動から生まれたものと思う。

☆兜太の自句自解(本講話より抜粋)

★夏の山国母いてわれを与太と言つ

母は18歳で長男のわたしを産んだ。当時は数え年を使っていたから満17の子。まるできょうだい(姉弟)だ、といわれてきた。

細君はわたしと50年を越す歳月を過ごしてきた、わたしがどこか幼稚で、日常生活が穴だらけなのにあきれている。そこで、母親が未成年のときの子だから、こんなことになるのね、と

いう。(中略) その母もわたしには満足してない。長男のくせに父の医院を継ぐこともなく、俳句ばかりやっている。役立たずもいいところなのだ。幸い医院は弟が継ぎ、母の面倒もみてくれていて、おかげで母は山国で元気にしている。ぼけているのか、とぼけているのかもはっきりしない。

わたしが旧制中学を卒業するころまで、母は私に俳句をやるな、といいつづけてきた。父が俳句好きで毎月句会をやっていた(中略)そして句会のおとはかならず酒盛りとなり、かならず喧嘩をした。母はそれをみていて、俳句は喧嘩、こんなものをやる人間にろくなものはいない、と思い込んでいたのである。しかし、わたしは俳句にうつつをぬかしている。与太といわずして、なんぞや。

★踊り鉢巻伊昔紅とは与太の父

※以下、割愛―

山本健吉『現代俳句』、川名大『現代俳句』を超える「現代」俳人の出現に期待もし、前書を超える「シン現代俳句」を書くという野望が欲しいものである。

「現代俳句とは何か」昭和二〇〇年の今、考える」(『現代俳句』2025年2月号) 了

特別企画 新入会員競詠

私の2句

※この1年間に会員になられた皆様から珠玉の2句をお寄せいただきました。(任意参加・五十音順)

◆石田 弥生

手のひらに春の光や遊歩道
命在り春満月の風の中

◆加藤 閑

きみ追うてここで雫にここ花野
凍土にも屍受け取るちからあり

◆コンフィ

カタカナにできぬ鳴き声春の山
空き缶を拾うホームレスへ暖雨

◆さとうみなこ

夏料理東京タワー見下ろせり
星飛んでショートカットの耳を出す

◆高矢 実来

囀や日本語訳は平和来い

冬眠のできないヒト科戦火まだ

◆田島 実桐

絨毯の柄を見てゐる土下座かな
熊渡る前方二百メートルを

◆鳥居 真里子

へいたい一列みな砂のごとく咳
ありとあらゆるたましひ凍るあ、蝶

◆中島 悠美子

白毫のひかりとことは梅一輪
胡乱なるうぶ毛吹かるる枯芙蓉

◆橋元 デジタル

吐息を匿え日蔭のクロッカス
人形に玻璃の眼入れる小春かな

◆蜂谷 一人

石室の四神眠らぬ星月夜
七星の柄杓をこぼれ寒の水

◆篠目 俊行

鑿研ぐや大工の顔に鱈東風
春一番ビルの高さにレジ袋

◆羊 潤

もうもうと湯気吸う闇や春の山
梟の黙に増えゆく転換炉

◆藤井 圭子

我夫と半分ずつの一夜酒
岳からの水の冷たき谷空木

◆松尾 通

冬ざれて暗闇坂にカフカあり
啓蟄やスニーカーひとつ買い足しぬ

◆峰村 浅葱

春愁や五体満足もてあます
春嵐一瞬重力の消ゆる

◆三宅 桃子

焼き芋のほろりほろりと駅灯る
間違えたままのかたちのかまど猫

◆宮原 ユリ

前カゴはつくしんぼうと文庫本
蓑虫や命ひとつを抱きゐて

◆山月 恍

少年が鳥を見ている良夜かな
行間の緩き文集日向ほこ

◆山本 半片

年用意デッキブラシに洗ふ鰻
驚や利息のやうに鳴き足して

◆横田 佐恵子

紅白の楚楚とみだれて梅らしく
クリスマスおほきな月と帰りけり

◆横山 小鼓

菜の花は蝶に人生に持ち時間
春疾風イマジン歌うことぐらい

◆米原 拓土

下宿屋の煎餅布団主の顔
路地裏に雪を纏いてビール籠

◆渡邊 すみれ

亡きひとは銀座通りの春満月
魚拓あり摘草あってなじみ客

※ご参加くださった皆様ありがとうございました。
た。東京都現代俳句協会は、文字通り首都
東京を本拠地として全国・全世界の俳句を愛
する人々とともに俳句の普及と発展を目標に

幅広く活動を展開しています。俳句大会や吟
行会・超結社で楽しむ高田馬場句会・さらには
通信句会や各ブロックの吟行会など多彩な企
画を用意しており、その内容などについては
この会報でくわしくお知らせしています。積
極的なご参加をお待ちしています。(編集部)

●Bブロック 秋の吟行会

実施日 令和7年10月12日(日)

場所 池上本門寺お会式

句会場 池上会館(予定)

交通 東急池上線池上駅より

徒歩10分

講話 未定

出句 嘱目2句

句会費 1,000円

懇親会 なし

吟行 自由吟行

問い合わせ

Tel 080-3554-11289 (讃岐)

Tel 090-4225-0989 (見目)

●都区協 春の吟行会

実施日 令和7年4月23日(水)

吟行場所 神田明神から湯島聖堂へ

《見どころ》パワースポットと呼ばれる

神田明神・徳川幕府学問所の湯島聖堂。

集合 神田明神鳥居前 午前11時

受付後、一緒に吟行、又は自由吟行 別

の日でも可。

申込締切 4月22日(火)

会費 1,000円(通信費・賞品代)

投句 嘱目2句

出句締切 4月30日(水)

参加申込 企画部 宮川 夏宛

葉書・FAX・メール

(※参加者、氏名・住所・電話番号を明記)

住所 〒165-0033 中野区若宮2-10-11

Tel 080-3452-2577

Fax 03-3339-9841

メールアドレス natsuchan82@gmail.com

東京都現代俳句協会 令和7年度俳句大会 作品募集

大会期日 令和7年9月20日(土) 午後1時より

●会員以外の方の投句大歓迎

□応募規定 2句1組・1,000円

何組でも可・未発表作品に限る

前書き不可・所定用紙(コピー可)

またはWEBフォームにて投句

投句料 ①ゆうちょ銀行振込 ②定額小為替

③現金書留 投句と同時に納入

□送り先 〒167-0053 東京都杉並区西荻南4-18-11
磯部 薫子 方

都区協令和7年度俳句大会係

□締切 令和7年4月30日(水) 当日消印有効

□当日会費 一句持寄り句会参加費1,000円

懇親会 交渉中

□発表 大会席上および都区協会報

投句者には作品集進呈

□表彰 現代俳句協会会長賞・都区協会会長賞・

全国俳誌協会賞・俳句のまちあらかわ賞・台東区あ

したの俳句賞・秀逸賞・佳作賞

★応募規定に反した場合は発表後でも入賞を取り消す

□WEBフォーム

URL: <https://forms.gle/QTBZBCGkozvVCj7>



【ゆうちょ銀行振込】

記号番号: 総会10550-13754531

インベセイコ「磯部聖子」

他行からの場合: 普通〇五八店 1375453

※振込手数料自己負担

こちらのQRコードから
アクセス出来ます

東京都現代俳句協会 2025年度初心者講座

受講者募集

於: 一般社団法人現代俳句協会 本部図書室

後期: 10月・令和8年1月

第2土曜日13時30分〜16時30分

定員18名

10月11日、11月8日、12月13日、令和8年

1月10日

申込締切7月6日(同時に投句)

講師: 高橋透水(現代俳句オープンカレッジ講師)・

2句持ち込み

受講料: 各期4,000円

申込先: 都区協初心者講座担当 栗原かつ代

現代俳句協会事務所

03-3383-8190(返信いたします。)

*知人友人にお勧めくださいますようお願いいたします。

(一社) 現代俳句協会

東京都千代田区外神田6-5-4倍楽ビル(外神田)7階

アクセス: JR秋葉原駅・御徒町駅より15分

地下鉄銀座線末広町駅より3分

地下鉄千代田線湯島駅6番出口3分

Tel 03-3383-8190 Fax 03-3383-8191

◎地図などの検索先

ホームページ: <https://gendaihaiku.gr.jp>

Twitter: <https://twitter.com/gendaihaiku>

※前期: 開講中 4月〜7月 第2土曜日13時30分

16時30分

4月12日、5月10日、6月14日、7月12日

講師: 川崎果連(現代俳句オープンカレッジ講師)

Aブロック「初夏の吟行会」

— 波郷の町で名句を詠もう —

2025年5月27日(火)

吟行…江東区砂町銀座周辺(自由吟行)

受付…12時 開始 句会…13時

出句…囁目2句(13時締め切り) 会費…1,000円

句会場…江東区砂町文化センターサブ・レクホール

江東区北砂5-1-7

Tel 03-3640-1751

交通…★都営地下鉄新宿線「西大島」駅A4出口より

1・都バス都07系統「門前仲町」行き

★JR総武線「錦糸町」駅より

2・都バス都07系統「門前仲町」行き

★東京メトロ東西線「東陽町」駅1番出口より

3・都バス都07系統「錦糸町駅前」行き

※1・3とも「北砂二丁目」下車徒歩8分

(砂町銀座中程からすぐ)

※要所に案内係がいます。

申込先…川崎 果連

〒135-0016 江東区東陽1-30-8-404

Tel 090-7410-9543

Mail karen.kawasaki.2016@gmail.com

申し込み締め切り 5月10日(土)

懇親会…「永昌園」砂町銀座店 会費…3,800円

東京都現代俳句協会

発展基金募集について

当協会の円滑充実した事業活動運営のため、発展基金を募集いたします。

会員各位におかれましては、左記の要領にてご協力賜りますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

一口1000円(何口でも結構です)

都区協現代俳句協会会長 山本 敏倅



振込番号

001105539619

加入者名 東京都現代俳句協会

* 同封の振替用紙をご使用ください。

* ネット振込み利用可。

郵便振替払込受領証にて領収書に代

えさせていただきます。

基金担当 石口 榮

令和7年発展基金寄付者芳名

(1月1日から2月28日分まで)

敬称略・順不同

ご支援ご協力を深謝申し上げます。
なお今後もし引き続き募集していますのでご協力をお願い致します。

十口

中村 和弘

青木 栄子

櫻井 了子

五口

長谷川はるか

中本 勝美

北村眞貴子

大橋 愛子

鋤柄 杉太

次山 和子

渡邊すみれ

平田 恒子

鷲 ケイジ

佐々木いつき

川崎 果連

三口

伊達 公子

二口

森銅 昭夫

三輪 初子

第39回高田馬場「冬」句会報

令和7年1月14日（火）

兼題「風花」・席題「常」

穏やかな冬晴れの中、30名の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

（高得点句）

1 わたくしを常温保存して待春 山崎 百花
2 たましひにたましひ触れて風花す

3 風花や瞬き多しつけ睫毛 讃岐 幸江
4 木も茎も草も常なる淑気かな 暮目 俊行

5 鴨潜るこんなところに非常口 石口 榮
6 風花やまた落とし物失くし物 長谷川はるか

7 正常値を少しはみ出し梅ふふむ 安藤 草太
8 熱燗に飽き常温の日常に 高橋 透水

9 常しえの如意輪の笑み初明かり 磯部 薫子

（以下順不同）

風花や夢の浮橋千鳥足 宮川 夏

風花におはよう上りだす運氣 松澤 雅世

大樹あり無心無常の初御空 北村眞貴子

風花や庭にとびだす結城の子 高矢 実来

冬ざるこの世の平和常ならず 中内 火星

風花やウト口漁港の遊覧船 川崎 果連

私には家庭の事情風花す

おでん喰う俺の常識がんもから

葱二本しょって日常を出奔す

風花や推しの役者と握手して

福寿草常人からの脱皮かな

夫婦別姓風花を解き放つ

風花を芥と呼びし都会の子

初東風へ開く釦を常総線

女正月常と変はらぬ朝なれど

冬座敷越中富山常備菓

槍目指す雪の常念岳を越え

風花や慰霊碑のよく洗われて

メモ書いて常に忘れる雪女郎

今野 龍二

米原 拓土

山本 敏倅

藤井 圭子

渡邊すみれ

松田ひろむ

蓮尾 碩才

川目 智子

上野 英一

坂本 君江

山口 紀子

白石 正人

栗田希代子

高田馬場「夏」句会のご案内

日時 令和7年7月1日（火）

午後12時半 受付開始

会場 費 1,000円

場所 JR高田馬場駅前Fビル8階

兼題 「百日紅」席題は当日掲示

句会内容 2句投句・互選6句内1句特選

参加申込 見目千絵（定員30名）

TEL 090-4225-0989

（シートメールによるお申込みの際にはご自分の氏名をお書き添えてください）

風花のゆるい坂なりひとり来て

人日や常なる暮し粥一膳

（見目千絵 記）

編集後記

硫黄島で米軍が星条旗を掲揚した瞬間の写真は、米国防総省がウェブサイトで削除した。理由は、この写真に米先住民の海兵隊員が写っているからということらしい。同省は多様性・公平性・包括性（D E I）を想起させる写真を削除する取り組みを進めているが、広島に原爆を投下した爆撃機「エノラ・ゲイ」も削除候補に指定した。こちらは「ゲイ」を誤解したようだ。

そんななか、欧州議会のフランス人議員がトランプ政権に対し、米独立100周年の記念にフランスが贈った自由の女神像の返還を求めた。

トランプ政権の移民・外交政策などを批判し冗談まじりに女神像がないがしろにされているので、故郷に戻したらよいと発言した。なるほど、こもつとも。

川崎果連

広報部・編集室

〒135-0016 東京都江東区東陽

1-30-8-404 川崎果連方

TEL 090-7410-9543

メール: karen.kawasaki2016@gmail.com